

No. 337

全 仏

4/63

税務セミナー開催
囲碁大会開催

全日本仏教会第18期新役員発表



本会主催の税務セミナーで講演する奥田幹生自民党文教副部長 (記事4・5面)

全日本仏教会

全日本仏教会第18期新役員

会長 大谷 光真(浄土真宗本願寺派)

門主

副会長 小林 隆仁(真言宗御室派管長)

寺坂 義照(西山浄土宗管長)

色井 秀讓(天台真盛宗管長)

吉田 日康(顕本法華宗管長)

福永 隆昭(神奈川県仏教会長)

加納 博司(岐阜県仏教会長)

平川 彰(東京大学名誉教授)

理事 野口 善雄(浄土宗)

常務理事(評議員中の◎印)

理事(〇印)

監事(〇印)

評議員(敬称略)

〇檀山 大典(曹洞宗)

〇葦山 光堂 同

〇朝日 泰峯 同

来馬 規雄 同

近藤 恒良 同

横山 敏明 同

吉井 道樹 同

東 雄鳳 同

◎渡辺 静波(浄土真宗本願寺派)

◎有馬 清雄 同

日谷 周暎 同

平 興誓 同

井上 博厚 同

大内 察爾 同

中山 知見 同

浅野 秀慶 同

◎古賀 制二(真宗大谷派)

山崎 順正 同

◎平出 昭寛 同

不破 仁 同

惠美 龍川 同

本間 義博 同

熊谷 宗恵 同

朽木 明晩 同

◎大田 秀三(浄土宗)

◎野口 善雄 同

牧 達雄 同

川井 匡俊 同

成田 有恒 同

野呂 幸進 同

吉田 昭炳 同

伊東 康雄 同

◎澁谷 直城(日蓮宗)

森 恵遠 同

橋田 文啓 同

持田 貫宜 同

小崎 竜雄 同

◎近藤 智清 同

◎近藤 説巖(高野山真言宗)

寿山 良知 同

北川 智城 同

橋爪 良恒 同

山田 一真 同

◎竹中 玄鼎(臨濟宗妙心寺派)

▽横山 尚空 同

中島 義観 同

瑞岩 宗園 同

馬場 義光 同

◎江田 広典(天台宗)

高松 義寛 同

▽市原 孝寿 同

長沢 徳純 同

◎高野 一能(真言宗智山派)

竹村 智優 同

茂木 隆広 同

花木 義光 同

◎吉田 俊誉(真言宗豊山派)

川田 聖定 同

栗山 明憲 同

杉本 亮一 同

◎安藤 正晃(孝道教団)

鈴木 好二 同

草野 貞男 同

◎森田 禅朗(和宗)

加藤 公俊 同

健代 和志 同

法田 光順(聖観音宗)

清水 映順 同

◎五十嵐 意承 同

◎長谷川 霊信(念法真教)

大倉 律現 同

仲田 順和(真言宗醍醐派)

吉田 裕信(真言宗御室派)

清水谷 正道(真宗高田派)

徳岡 俊玉(西山浄土宗)

中司 信了(真宗興正派)

山本 智条(黄檗宗)

東条 仁哲(真言宗大鳴派)

片岡 義道(天台真盛宗)

辻 円乘(時宗)

小沢 秀行(臨濟宗建長寺派)

松井 孝純(法華宗本門流)

梨本 哲雄(真宗仏光寺派)

水野 良雄(浄土宗西山禅林寺派)

岡平 篤道(臨濟宗東福寺派)

吉村 暲英(融通念仏宗)

坂口 密翁(真言宗大覚寺派)

高野 乗純(本門仏立宗)

鶴飼 慶範(浄土宗西山深草派)

阿部 本宣(真言宗善通寺派)

河野 時中(顕本法華宗)

森 弘之(新義真言宗)

岩佐 是光(臨濟宗円覚寺派)

鈴木 昭吾(法華宗陣門流)

藤井 文英(法華宗真門流)

木辺 宣慈(真宗木辺派)

岩橋 政寛(東寺真言宗)

合田 和教(真言宗国分寺派)

後藤 正元(臨濟宗建仁寺派)

平岡 定海(華嚴宗)

安井 玄純(真言宗泉涌寺派)

多川 乗覚(法相宗)

田中 真瑞(信貴山真言宗)

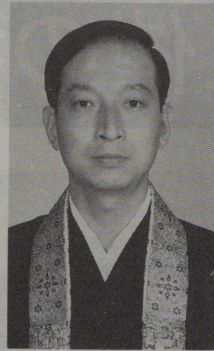
高田 良信(聖徳宗)

小池 義人(真言宗須磨寺派)
平田 忠義(妙見宗)

国定 浄運(真言三宝宗)
今井 圓明(真言宗中山寺派)

会長就任に当たって

全日本仏教会会長 大谷 光真



このたび、全日本仏教会の第十八期会長にご推戴いただき、去る二月二日就任いたしました。本会の精神にのっとり、その任務に努力いたす決意でございます。

全日本仏教会は昨年、財団創立三十周年を迎え、それを記念する式典にぎにぎしく開催されました。各界から多数のご来賓もご臨席になり、盛会のうちこの行事が円成したと聞いております。

これは、本会对する各方面の方々の強い期待を物語るものであり、まことに喜ばしい限りではございますが、同時に今後新しい歴史を加えていく者の一人として、責務の重さを痛感しております。関係各位お一人おひとりのご

協力をいただき、本会が新しい時代を着実に歩んでいけるよう、努力したいと思っております。

私はちょうど十年前、第十三期の会長をつとめました。この時は日本で第十二回世界仏教徒会議が開催され、各国仏教関係者との有意義な交流の場を持つことができました。

本年は来たる九月に第三十三回全日本仏教徒大会が岐阜県で、十一月には世界仏教徒会議がロスアンゼルス市で開催されます。全日本仏教徒岐阜大会では、生命倫理を内容とするシンポジウムが行われると聞きますが、これは今後の仏教界が避けて通れない、はなはだ重要な課題であると考えております。さらに、世界仏教徒会議が、初めてアメリカ大陸で開かれるということにも、大きな意義があると思えます。どちらも、一人でも多くの方にご参加いただき、有意義な大会となりますことを念じております。今後ともご支援ご協力のほどよろしく願いたします。

(写真は 大谷会長)

- 寺村 顕智(北海道仏教会連盟)
- 中林 徳雄 同
- 楠美 知仁(青森県仏教会)
- 高木 教潤(岩手県仏教会)
- 竹市 文成(群馬県仏教会連合会)
- 塚田 賢照(栃木県仏教会)
- 鱒淵 正浩 同
- 小原 泰寿(茨城県仏教会)
- 江連 俊則(埼玉県佛教会)
- ▽酒井 文雄 同
- 河野 亮永 同
- 土持 良栄(千葉県仏教会)
- 村松 正隆 同
- ◎岩崎 宗秀(東京都仏教連合会)
- 篠本 宏昌 同
- 白川 謙敬 同
- 柳下 隆侃(神奈川県仏教会)
- 大井 重忠 同
- 中村 啓識(新潟県仏教会)
- 波佐場 薫(石川県仏教会)
- 藤田 応隆(山梨県仏教会)
- 海野 浄雄(長野県仏教会)
- 橘 感月(岐阜県仏教会)
- 加納 博司 同
- 北山 宏明(静岡県仏教会)
- 堀田 博道 同
- 宇佐見 諒練(愛知県仏教会)
- 江川 辰三 同
- 小松 玄澄(京都佛教会)
- 鈴木 竜珠(大阪府仏教会)
- 井桁 雄弘 同
- 大谷 昭世(兵庫県仏教会)
- 圓成 淳龍 同
- 前田 侑敬(和歌山県仏教会)

- 林 恵智子(全日本仏教婦人会)
- 島田喜久子 同
- 中山 清田(全日本佛教青年会)
- 中山 静麿(日本佛教鑽仰会)
- 秋山 秀濟(日本佛教保育協会)
- 長田 順海(国際仏教興隆協会)
- 尾崎 隆(仏教振興財団)
- 浜田 嘉伸(東京ブディストクラブ)
- 沼田 惠範(仏教伝道協会)
- 三谷 深(世界平和同願会)
- 本山 完海(岡山県仏教会)
- 鶴巻 孝永(鳥取県仏教会)
- 脇 千城(香川県仏教会)
- 松浦 光章(徳島県仏教会)
- 水崎 章元(愛媛県佛教会)
- 島田 定信(高知県仏教会)
- 友松 諦道(真理舎)

寺院用具

浅草通り五鳳会加盟店

株式会社 決田商店

東京都台東区寿2-10-9 (地下鉄田原町駅前)
電話 代表(841) 4965

本会主催の税務セミナー

第二回、京都で開く
二百五十名が参集



浄土宗総本山知恩院・和順会館で開催された税務セミナー



四宗派の代表たちが独自の税務指導を行っている実情を報告

本会主催の「税務セミナー——税務指導はいま——」が、全仏関西事務局と浄土宗総本山知恩院の協力により、去る三月十四日、京都の知恩院・和順会館地下ホールにおいて、約二百五十名の聴衆を集めて

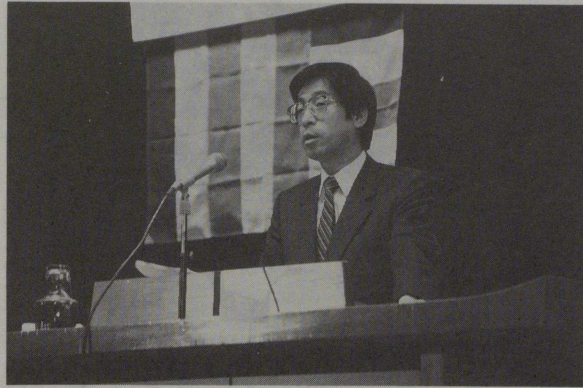
開催された。

奥田自民党副 部会長が講演

このセミナーは、宗教法人への税務攻勢が年々厳しくなっている折、宗教法人の運営者は是非とも税制税務への見識を高める必要がある、という主旨によって企画されたもので、昨年三月の増上寺での開催に続いて今回で二回目。特に今回は、四宗派による税務指導の実情発表もあり、

「このセミナーを全仏加盟団体の情報交換の場にした」（石川全仏財務部長）という主旨も盛り込まれている。セミナーは、野口善雄全仏理事長と中野玄光総本山知恩院執事のあいさつに続き、奥田幹生衆議院議員（自民党文教副部会長・宗教法人担当主査）が、国会での税制の動向について講演。その中で奥田

氏は「最近、宗教法人を悪用した脱税事件が新聞紙上ににぎわしている。私は、それが八万三千の宗教法人のほんの一部であり殆どの宗教法人が誠実に営んでいるという実態を、税制調査会で主張しているが、国民世論として宗教法人への疑問が高まっていることは確か。新聞種に



講演する長谷川顧問弁護士

なるような事件がおこらないことを切望する」と述べ、税制調査会において昨今の宗教法人に関するスキャンダルが重くみられていることを示唆するとともに、「これからは心の時代であり、宗教家の努力が是非とも必要である。私どもとしても宗教法人の活動をやりやすい環境をつくる努力をしていきたい」と発言。

四宗派代表者が実情を報告

続いて四宗派による実情報告。曹洞宗の剛山浩義資源課長、浄土真宗本願寺派の野田英隆庶務部長、浄土宗の浅野良光知恩院財務部長、日蓮宗の長亮行財務部経理課長が、それぞれ十五分の持ち時間で発表。各宗派とも、セミナーの開催や小冊子の配布など、それぞれ独自の税務指導を行っていることが報告された。また宗派にあがってくる多岐にわたる税務に関する質問のいくつかも紹介された。

長谷川顧問弁護士が講演

この後、長谷川正浩全仏顧問弁護士が「宗教法人に対する税務調査の実態」という演題で講演。宗教法人が優遇されているといわれるが、はたして本当にそうなのか、宗教法人というやや特殊な法人の役割と義務そして権利、こころへの議論を抜きにして不公平税制のターゲットにされていることは遺憾であると発言。また、税務調査にたいする宗教法人の法的権利や、さらに税務調査をうけた時の具体的な心構えについても説明した。

約三時間、休憩なしであったが、参加者はメモをとるなど熱心に聞き入っていた。なおこの模様は、「和尚さんも税務セミナー」という題で、関西方面のNHK TVの夜のニュースで紹介された。

都道府県仏教会 合同ブロック会議

今秋の岐阜大会中心に審議

去る二月二十六日午後二時より、岐阜 会議が開催された。今回は、本年九月に県長良川河畔の「岐阜グランドホテル」を会場に、都道府県仏教会合同ブロック



午後二時、齋藤社会部長の司会により会議は進められ、最初に野口善雄理事長導師のもと三婦依文を唱和した。次に同理事長挨拶の後、白川謙敬東京都仏教連合会事務局長を座長に選出して協議に入った。

協議事項

①昭和六十三年税制改正の動向について

川島総務部長から、寺院をめぐる税金の諸問題について詳しい説明があり、最近のこととして去年の十二月七日に行われた自由民主党文教部会と日本宗教連盟との懇談会の内容、税制改正で新設が予想される間接税と宗教法人が行う収益事業との関係、宗教法人に関

岐阜で開かれた都道府県仏教会合同ブロック会議

する総務庁の行政監察の動向について報告された。

②全日本仏教徒会議岐阜大会について 齋藤社会部長、加納博司岐阜県仏教会会長から、大会の概要について報告された。また未来博及び県内の観光や宿泊についても、それぞれの関係者により詳しい説明がなされ、大会への参加がうながされた。

③ルンビニー園復興計画への協力について 出席者からも是非とも大会が成功するようとの激励の言葉があった。

て

杜多国際文化部長より、ルンビニー園復興計画が進展しない背景が詳しく説明された。計画が困難な状況にあるようだが、目的達成のため努力してほしいとの出席者からの意見が表明された。

引き続き五時より懇親会が、中村啓識新潟県仏教会会長の乾杯の発声により開催された。地元の杉山令肇参議院議員(順勝寺住職)もかけつけて、岐阜大会への協力を要請。出席者一同の大きな拍手をあげていた。

各地で好評の宗教法人セミナー

岐阜で三回目開く

岐阜県仏教会主催の「宗教法人セミナー」(後援・全日本仏教会、山一證券株式会社)が、前掲の合同ブロック会議翌日の二月二十七日、同じく岐阜グランドホテルを会場に開催された。

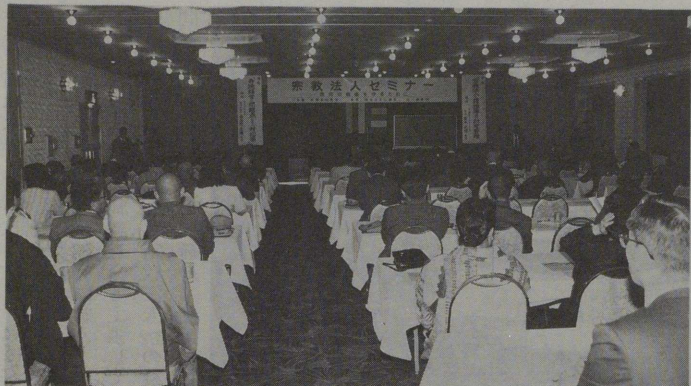
岐阜県においては三回目の開催。当日は雨模様にもかかわらず、県内各地から約百二十名が参集した。

なお、二月には大阪と新潟においても次のおり宗教法人セミナーが開催されている。

○二月八日大阪(大阪府仏教会主催・於大阪コクサイホテル・百五十名参加)

○二月十九日新潟(新潟県仏教会主催・於ホテルオークラ新潟・百六十名参加)

岐阜で開かれた宗教法人セミナー



緊迫の対戦。この一局でAクラス優勝が決定した



全仏囲碁大会

長野の長尾師が優勝

本会主催の第五回囲碁大会(後援/日本棋院・仏教タイムス社)が、去る三月八日、東京市ヶ谷の日本棋院で開催された。

今回の参加者は二十八名。お彼岸を間近にひかえての開催だけに、参加者はいつもとより少なかったが、関東一円はもとより、

遠く京都や広島からの参加者もあり、囲碁を通じて宗派を越えた親睦をはかろうと、昭和五十九年からはじまったこの大会も、だいぶ定着した感が強い。

競技を終えての懇親会で喜びを語るAクラス優勝の長尾義雄師



午後十時から開会式、続いて曹洞宗の来馬規雄実行委員長のルール説明の後、増淵辰子六段の審判のもと対局がはじまった。

四クラスに別れてのトーナメント方式で行われたが、特に最上級のAクラス(五段以上)は強豪十四名の激戦区。午後五時まで熱戦がくりひろげられ、長野県の長尾義雄師(浄土真宗本願寺派)が優勝した。

競技の結果は次のとおり。(敬称略)

Aクラス(五段以上)

長尾義雄(浄土真宗本願寺派)

早川英章(日蓮宗)

Bクラス(三、四段以上)

北之内真龍(埼玉県佛教会)

尾高重暉(浄土宗)

Cクラス(初、二段以上)

雲居隆栄(浄土真宗本願寺派)

Dクラス(二級以下)

福島光信(浄土真宗本願寺派)



法律相談室

回答・全仏顧問弁護士

長谷川 正浩

(質問)

当山では収益事業として駐車場をやっていきます。この収益のなかから退職給与を積立てましたところ、この分は損金に算入されないと税務署にいわれました。もちろん退職金の規定をお寺で作成してあります。損金に出来ない理由は、住職は寺の代表役員であって、兼務役員ではないため損金に出来ないということにあるようです。この見解は正しいでしょうか。

(新潟県T寺坊守)

(回答)

お尋ねの見解はまちがっています。

代表役員退職金の損金算入について

法人税法は役員の報酬や賞与・退職金等のうち、損金に算入されないものを三つあげています。一つは過大な役員報酬です。二つ目は役員賞与です。そして三つ目は過大な役員退職給与です。この三つは原則として全て損金算入されません。但し、二つ目の役員賞与については例外が設けられています。その例外の一つが、使用人を兼務する役員について使用人としての職務に対する賞与として相当なものは損金算入出来るというものです。

ところでお尋ねの退職金は今まで述

べたところで明らかのように、過大とならない限り損金として扱えるわけです。損金算入できないのは過大な退職金だからです。このことは代表役員の報酬と全く同じです。

そして、過大かどうかは、退職金の額が、その役員の仕事に従事した期間・退職するときの事情・同種同規模事業の支給状況等に照らして相当額かどうかによって判断されます。ここで注意しておくことは、比較の対象となるのは同規模の駐車場であって、駐車場をしている同規模のお寺ではありません。しかし厳密にいうと数種類の収益

事業をしているお寺の場合はこの比較は容易ではないかも知れませんが、常識の範囲内なら許されるべきものだと思います。

従って、お尋ねの場合、右の基準によって退職金の額が過大でない限り、全て損金に算入されることとなります。代表役員は使用人兼務役員ではないからその退職金は全て損金に算入できないという見解は、つぎの二つの意味でまちがっています。一つは役員の退職金は損金算入しえないという根拠が全くないということです。損金算入で

きないのは過大な役員退職金です。この理くつを適用すると役員報酬は全て損金算入できないことにもなりかねません。二つ目のまちがいは役員賞与の場合と混同しているということです。役員賞与は原則として損金算入できないが、使用人兼務役員の場合は一定の割合が損金算入できるということでした。ここで始めて使用人兼務役員ということが代表役員についていえるかどうかという問題が発生するわけです。退職金や報酬の場合にはこういったことは一切考える必要がないのです。(参照条文)

退職金については、法人税法第三六条、法人税法施行令第七二条。

報酬については、同法第三四条、同法施行令第六九条。

賞与等については、同法第三五条、同施行令第七〇条、同第七一条、法人税法基本通達九一―二―一。

以上

なお、本会では、毎月第二・第三、四木曜日午後一時から四時まで、長谷川先生による「法律無料相談室」を開設していますので、お気軽にどうぞ。また、本誌「法律相談室」にご質問がございましたら、本会社会部宛お送り下さい。

仏教伝道文化賞 に勝又俊教師

財団法人仏教伝道協会主催による、第二十二回仏教伝道文化賞の受賞式が、去る三月十七日、仏教伝道センタービルで行われた。本年度の受賞者は次のとおり。



表彰される勝又俊教師

文化賞 A項 勝又俊教師
B項 守屋多々志氏
功労賞 道端良秀師
伊藤完夫氏

文化賞のA項(学術関係)で受賞された勝又俊教師は、現在真言宗豊山派管長、総本山長谷寺化主。かつて大正大学学長を務め、また本会の副会長も務めておられた方。

著書に『仏教における心識説の研究』『密教の日本的展開』等があり、今回の受賞は、唯識思想の研究、密教の日本的展開の研究などの優れた成果、また優れた研究者であると同時に偉大な伝道者であるということが高く評価されたものである。

○今月号の『同和推進のために』はお休みさせていただきます。

○全仏事務総局の人事、また各種委員会の新しい委員は来月号に掲載いたします。

事務局長録事

三月

四日 日蓮宗管長本葬儀参列
五日 立正佼成会創立50周年記念式典出席

七日 局内会議
八日 囲碁大会
九日 日宗連理事会出席
十日～十一日 同宗連研修会参加・WFB執行委員会出席(バン

コク)

十一日 法律相談
十四日 税務セミナー(京都) 真言宗御室派差別墓石供養出席

UJB委員会
十五日 局内会議
十六日 国際専門委員会
十七日 伝道文化賞受賞式出席
二十三日 川井ルンビニー委員長帰国
二十四日 理事会(京都)
二十五日 法律相談



YAMACHI SERVICE SYSTEM

山一の「サンライン」は、ご家庭のパソコンでリアルタイムの証券情報を見ながらその場で売買注文もできる画期的なサービスシステムです。

- リアルタイム株価などの証券情報が得られます。
- 株価チャートをご覧いただけます。
- ご家庭で株式の売買注文ができます。

ご利用時間 朝 7:00 ~ 翌朝 1:00
(日曜・祝祭日および第2・3土曜日はご利用になれません。)

※平日8:00~18:00 ※土曜(第2・3を除く)8:00~14:00

「サンライン」専用お問合わせ電話(通話料金無料)

☎(局番なし)0120-001234

お近くの山一証券でもお問合わせ・お申込みを承ります。お気軽にご相談ください。

株式情報生中継

わが家で証券取引!



画面見本はサンラインEタイプのものです。

パソコンでリアルタイムの証券情報や売買注文を。

サンライン

SUN-LINE

山一証券

〒104 東京都中央区八重洲2の4の1
☎(03)276-3181(代表)

昭和六十三年四月一日発行
四月号 第三三七号

発行人 白川良純 発行所

財団法人 全日本仏教会

〒一〇五

東京都港区芝公園四一七一四
電話 〇三三四三七九二七五